

平成24（2012）年度

大学院後期博士課程
学生募集要項

- ◆ 経営学研究科
- ◆ 経済学研究科
- ◆ 法学研究科
- ◆ 文学研究科
- ◆ 理学研究科
- ◆ 工学研究科
- ◆ 生活科学研究科

※ 医学研究科、創造都市研究科、看護学研究科の募集要項は別途発行

大阪市立大学

目 次

〈 一 般 選 抜 〉

1	募 集 人 員	1
2	出 願 資 格	1
3	出 願 書 類 等	2
4	出 願 方 法	5
5	選 抜 方 法	5
	(学 力 試 験)	
	経 営 学 研 究 科	6
	経 済 学 研 究 科	6
	法 学 研 究 科	7
	文 学 研 究 科	9
	理 学 研 究 科	11
	工 学 研 究 科	12
	生 活 科 学 研 究 科	13
6	特別措置を希望する者の出願について	13
7	合格者発表等について	13
8	学 費	14
9	注 意 事 項	14

〈 外 国 人 留 学 生 特 別 選 抜 〉

1	募 集 人 員	15
2	出 願 資 格	15
3	事 前 相 談	15
4	出 願 書 類 等	15
5	出 願 方 法	18
6	選 抜 方 法	18
	(学 力 試 験)	
	経 営 学 研 究 科	19
	経 済 学 研 究 科	19
	法 学 研 究 科	20
	文 学 研 究 科	21
	理 学 研 究 科	23
	工 学 研 究 科	24
	生 活 科 学 研 究 科	24
7	特別措置を希望する者の出願について	25
8	合格者発表等について	25
9	学 費	25
10	注 意 事 項	25

〈 出 願 資 格 審 査 に つ い て 〉 26

〈 社 会 人 特 別 選 抜 学 生 募 集 の 概 要 〉 27

- 問 い 合 わ せ 先 28
- キャンパス・交通案内図 29

〈 一般選抜 〉

1 募集人員

研究科	専攻	入学定員	募集人員
経営学	グローバルビジネス	8	8
経済学	現代経済	8	8
法学	法学政治学	10	10
文学	哲学歴史学	8	8
	人間行動学	8	8
	言語文化学	12	12
	アジア都市文化学	4	4

研究科	専攻	入学定員	募集人員
理学	数物系	14	14
	物質分子系	13	13
	生物地球系	14	14
工学	機械物理系	7	7
	電子情報系	10	10
	化学生物系	7	7
	都市系	9	9
生活科学	生活科学	15	15

医学研究科、創造都市研究科及び看護学研究科の募集要項は、別途発行します。

注1 後期博士課程の標準修業年限は3年です。

なお、文学研究科・生活科学研究科では、職業を有する、又は育児や介護等の事情により、標準修業年限を超えて一定の期間にわたり計画的に教育課程を履修し、課程を修了することを認める長期履修学生制度があります。詳しくは学生サポートセンター各研究科教務担当（28ページ参照）にお問い合わせください。

2 学力試験の成績により、合格者数が募集人員に達しない場合があります。

3 経済学研究科、文学研究科、理学研究科、工学研究科、生活科学研究科については、社会人を対象とした特別選抜があります。社会人特別選抜の募集人員は上記入学定員に含みます。社会人特別選抜の概要については、27ページを参照の上、各研究科個別の学生募集要項で確認してください。

4 本学は上記のほか、医学研究科博士課程(4年)、看護学研究科博士(後期)課程(3年)、創造都市研究科博士(後期)課程(3年)を設置しています。

2 出願資格

次の各号のいずれかに該当する者

- (1) 修士の学位を有する者及び平成24年3月までに取得見込みの者
- (2) 外国において、修士の学位に相当する学位を授与された者及び平成24年3月までに授与される見込みの者
- (3) 平成元年文部省告示第118号をもって文部大臣の指定した者
- (4) 当該研究科において、個別の入学資格審査により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者で、平成24年3月31日現在において24歳以上の者
- (5) 法学研究科においては、上記以外に次の者も該当します。

ア 法務博士の学位を有する者及び平成24年3月までに取得見込みの者

イ 外国において法務博士の学位に相当する学位を授与された者及び平成24年3月までに授与される見込みの者

注1 出願資格(1)、(2)の修士とは、経営学研究科及び経済学研究科は経営学・商学・グローバルビジネス・経済学の修士、法学研究科は法学及び政治学の修士、工学研究科は工学及び各専攻名に類する修士を含みます。

2 前記注1にあげた修士以外の修士の学位取得者及び出願資格(3)、(4)により出願しようとする者は、出願資格の認定のため、「出願資格審査申請書」などの提出を必要としますので、事前に学生サポートセンター各研究科教務担当に申し出のうえ、平成23年12月2日(金)までに必ず学生サポートセンター各研究科教務担当に必要書類を提出してください(「出願資格審査について」26ページを参照してください)。

3 経営学研究科の場合、前記注1にあげた修士以外の学位取得者及び出願資格(2)～(4)により出願しようとする者及び修士論文のない場合は、出願資格の認定のため「出願資格審査申請書」などの書類の提出を必要としますので、平成23年12月2日(金)までに学生サポートセンター経営学研究科教務担当に相談してください(「出願資格審査について」26ページを参照してください)。

4 出願資格(3)の「平成元年文部省告示第118号をもって文部大臣の指定した者」とは、大学を卒業し、又は外国において学校教育における16年の課程を修了した後、大学、研究所等において、2年以上研究に従事した者で、当該研究科において、当該研究の成果等により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者です。

3 出願書類等

入学志願者は、出願する前に、研究指導教員に必ず相談してください。研究指導教員の連絡先電話番号は学生サポートセンター各研究科教務担当にお問い合わせください（各研究科の電話番号等は、28ページにあります）。

(1) 出願書類等（共通）

1	入学願書 (写真2枚)	<p>① 本学所定の用紙を用い、本人が記入してください。</p> <p>② ※印の欄は記入しないでください。</p> <p>③ 入学 進学 のいずれかに○をつけてください。</p> <p>④ 受験票と写真票は、縦4cm×横3cmの同じ写真(上半身、無帽で出願日より3か月以内に撮影したもの)をそれぞれ貼ってください。</p> <p>⑤ 「志望分野」欄と「受験外国語」欄には、5 選抜方法(1)学力試験(6ページ以下)の「願書記入上の注意」をよく読んで、指定された欄のみ記入してください。</p> <p>⑥ 出願後の記載の変更は認めません。</p>
2	修士課程修了(見込)証明書 又は 法科大学院修了(見込)証明書	出身大学長等が作成したもの。(※1) (但し、出願する研究科の前期博士課程修了(見込)の者、及び出願資格(3)、(4)に該当する者は提出する必要がありません。)
3	大学院成績証明書 (修士課程又は 法科大学院の成績証明書)	出身大学長等が作成したもの。(※1) (但し、出願する研究科の前期博士課程修了(見込)の者、及び出願資格(3)、(4)に該当する者は提出する必要がありません。)
4	学部成績証明書	出身大学長等が作成したもの。(※1) (但し、出願する研究科の前期博士課程修了(見込)の者及び法学研究科を受験する本学法学研究科法曹養成専攻修了(見込)の者、出願する研究科の基礎となる本学学部卒業者は、提出する必要がありません。)
5	受験票等 送付用封筒	本学所定の封筒に 350円 分の切手を貼り、受験票等送付先の郵便番号、住所及び氏名を記入したもの。
6	出願資格認定書	1ページ「2 出願資格」(3)、(4)により出願する者のみ提出。 (経営学研究科の場合は、1ページ「2 出願資格」の注3の記載にしたがってください。)
7	入学検定料	30,000円 郵便局の窓口で、本学所定の郵便振替払込票にて納付してください。 ※14ページ 9 注意事項(2)に該当する者以外には、既納の入学検定料は返還しません。 (本学各研究科前期博士課程修了見込み及び本学法学研究科法曹養成専攻修了見込みの進学希望者は、入学検定料を納付する必要がありません。)

※1 旧姓(名)記載の証明書を使用する場合は、姓(名)が変わった理由を別紙に記載してください(様式任意)。

(2) 各研究科ごとに必要な書類

《経営学研究科》

A	修士学位請求論文 又はその写し	出身研究科長等の証明書を提出論文の表紙に添付したものを3部。
B	修士学位請求論文の 要 旨	A4版横書きで2,000字程度を1部。
C	志 望 理 由 ・ 研 究 計 画 書	本研究科所定の用紙を用い、記入したものを1部。
D	その他の研究業績 《提出任意》	前期博士課程(修士課程)修了後に研究業績がある場合には、その業績及び要旨(様式はA、Bに準ずる)も提出することができます。

注 Aについて、出願期間中に提出できない事情がある場合は、1月31日(火)17:00まで提出の延期を認めますので、12月20日(火)までに学生サポートセンター経営学研究科教務担当に相談のうえ手続をしてください。

《経済学研究科》

A	修士学位請求論文 (写 し)	出身研究科長等の証明書を提出論文の表紙に添付したものを3部。
B	修士学位請求論文の 要 旨	A4版横書400字詰原稿用紙を使用し、2,000字以内。 修士論文の目次を転記し、上記用紙に綴じ合わせ、表紙をつけたものを4部提出してください(P.C.等で作成の場合も、A4版横書き)。
C	補充論文及びその 要旨(該当者のみ)	本研究科の入学試験にかつて不合格となった者は、400字詰原稿用紙50枚以内の補充論文及びその要旨(様式は、Bに準ずる)を提出することが望ましい。
D	その他の研究業績 《提出任意》	前期博士課程(修士課程)修了者で、修了後に研究業績がある場合には、その業績及び要旨(様式は、Bに準ずる)も提出することができます。

注 Aについて、出願期間中に提出できない事情がある場合は、1月27日(金)12:00まで提出の延期を認めますので、1月4日(水)までに学生サポートセンター経済学研究科教務担当に相談のうえ手続をしてください。

《法学研究科》

・修士課程修了(見込)の者

A	修士学位請求論文 又はその写し	出身研究科長等の証明書を提出論文の表紙に添付したものを3部。(本研究科前期博士課程修了(見込)の者については証明書の提出は不要です。)
B	修士学位請求論文の 要 旨	2,000字程度のを3部(P.C.等で作成の場合は、A4版。原稿用紙の場合は、400字詰原稿用紙を使用)。

注 Aについて、出願期間中に提出できない事情がある場合は、1月31日(火)12:00まで提出の延期を認めますので1月4日(水)までに学生サポートセンター法学研究科教務担当に相談のうえ手続をしてください。

・法科大学院修了(見込)の者

A	小 論 文	専攻しようとする科目に関して適宜表題を設定し、それについて10,000字程度で論述したものを3部。
B	研究計画書	研究テーマ、研究指導を希望する教員の氏名、研究の目的、研究計画を1,000字程度で記述したものを1部。

《文学研究科》

	修士学位請求論文の写し（全員） 注を参照	1部。（本学文学研究科前期博士課程修了（見込）で同一専攻専門分野を受験する者は不要です。）
A	注 出身大学院の修士論文提出日の関係で、出願時に提出できない場合次の手順で期日延長を認めます。 ①出願時にC「文学研究科 必要事項記入用紙」に必要事項を記入。 ②学生サポートセンター文学研究科教務担当に郵送：平成24年1月30日（月）の消印有効 学生サポートセンター文学研究科教務担当に直接持参：平成24年1月31日（火）17：00まで （郵送の場合は、封筒に「修士学位請求論文（写し）在中」と朱書きし、必ず郵便局で 特定記録郵便 により送付のこと。）	
B	修士学位請求論文の要旨（全員）	日本語で4,000字以内に要約したものを1部。 A4版（縦長）にワープロ等で横書きしてください（手書きも可）。 1行あたりの字数、1頁あたりの行数等の様式、文章の構成は自由です。 上記注により、修士学位請求論文を後日送付する場合は、 論文と同時に後日提出 してください。
C	文学研究科必要事項記入用紙（全員）	文学研究科の用紙を用い提出してください。
D	A以外の研究成果を示す論文等（写し）（希望者のみ）	A（修士学位請求論文の写し）以外で、志望専攻の専門分野についての研究成果を示す論文等があれば、その写しを1部提出してください。

《理学研究科》

A	修士学位請求論文の要旨	A4版2,000字程度で、前期博士課程（修士課程）の研究題目を記したものを1部。
---	-------------	------------------------------------------

《工学研究科》

A	修士学位請求論文又はその写し	A Bのうち、 いずれか1つを1部提出 。 Bの場合は、A4版2,000字程度。 1ページ「2出願資格」(3)、(4)によって出願する者は、すでに提出された「出願資格審査申請書」の発表論文等一覧表、又は研究実績をもってこれに替える。
B	修士学位請求論文の要旨	

《生活科学研究科》

A	修士学位請求論文又はその写し	出身研究科長等の証明書を提出論文の表紙に添付したものを1部 （本研究科前期博士課程を平成24年3月に修了見込みの者については、証明書の提出は不要です）。
B	修士学位請求論文の要旨	A4版横書きで1,200字程度を1部。
C	その他の研究業績 《提出任意》	学会等の発表論文又はその要旨（様式随意）

注 Aについて、出願期間中に提出できない事情がある場合は、2月3日（金）12：00まで提出の延期を認めますので、1月4日（水）までに学生サポートセンター生活科学研究科教務担当に相談のうえ手続してください。

4 出 願 方 法

入学志願者は、入学検定料を納付し、出願書類を取りそろえ、本学所定の出願封筒を使用し(出願書類が入りきらない場合は、本学所定の出願封筒の表^{おもて}を切り取ったものを貼った封筒でも構いません)、下記の送付先に必ず**書留速達郵便**により送付してください。

ただし、本学に在学している者(研究生・研修生等を含む)については、下記出願期間中の**10:00~15:00(12:00~12:45を除く)**の時間に限り、学生サポートセンター各研究科教務担当に直接提出することができます(本学所定の出願封筒を使用し出願書類を提出すること)。

※ 本学各研究科前期博士課程修了見込み及び本学法学研究科法曹養成専攻修了見込みの進学希望者は入学検定料を納付する必要がありません。

出 願 期 間	送 付 先
平成 24 年 1 月 4 日 (水) ~ 1 月 6 日 (金) 【6日消印有効】 出願期間を過ぎた消印のものは受理しませんのでご注意ください。	〒558-8585 大阪市住吉区杉本 3 丁目 3 番 138 号 大阪市立大学 学生支援課入試担当

出願の受付が完了した者には「受験票」及び「受験上の注意」を発送します。

1月13日(金)頃に発送の予定ですので、1週間経過しても到着しない場合は、学生サポートセンター各研究科教務担当に連絡してください。

5 選 抜 方 法

入学者選抜は、学力試験の成績及び出願書類の内容を総合して行います。

学力試験会場は、本学杉本キャンパス(JR阪和線杉本町〔大阪市立大学前〕駅下車)です。

なお、詳細は受験票を送付する際に通知します。受験票は試験当日必ず持参してください。

(1) 学 力 試 験

● 経 営 学 研 究 科

《グローバルビジネス専攻》

2月16日(木)		2月17日(金)
9:10 ~ 12:10		14:00 ~
筆 答 試 験		口 述 試 験
外国語1 英 語 I 語学辞書 持ち込み不可	外国語2 英語II、ドイツ語、中国語から 1か国語 を選択。 (外国語2については英語IIを選択した者を除き、語学辞書1冊の持ち込み可。ただし電子辞書及び英語を含む辞書は不可。)	提出された論文について行います。 (1人あたり 約30分)

注 2月16日(木)の筆答試験の結果により、指定した者についてのみ口述試験を行います。該当者は、2月17日(金)9:30に経営学研究科支援室(商学部棟1階事務室)前で発表します。

願書記入上の注意

- ① 「志望分野」欄に、入学後研究指導を志望する教員名を「大学院の概要」〔別冊子〕から選んで記入してください。
- ② 「受験外国語」欄の1に「英語I」を、2には「外国語2の選択した科目」を記入してください。なお、出願後の変更はできません。

● 経 済 学 研 究 科

《現代経済専攻》

2月16日(木)			2月17日(金)
9:10 ~ 10:40	11:00 ~ 12:30	13:30 ~	10:00 ~
筆 答 試 験	筆 答 試 験	口述試験(論文中心)	口述試験(全体)
外国語1 英語I	外国語2 英語II、ドイツ語、フランス語、ロシア語、中国語から 1か国語 を選択。	本研究科前期博士課程を修了した者及び他大学並びに他研究科からの受験生に対し、提出された論文について審査委員により行います。 なお、本研究科前期博士課程を修了見込みの受験者は、1月24日(火)に行います。 (1人あたり約60分)	提出された論文、筆答試験及び今後の研究計画等、全体にわたって研究科教員により全受験生に対して行います。 (1人あたり 約30分)
1か国語につき辞書1冊の持ち込み可。 ただし、経済用語辞典、電子辞書等は不可。			

願書記入上の注意

- ① 「志望分野」欄に、入学後研究指導を志望する教員の氏名及び担当授業科目を「大学院の概要」〔別冊子〕から選んで記入してください。
- ② 「受験外国語」欄の1に「英語I」を、2には「外国語2の選択した科目」を記入してください。なお、出願後の変更はできません。

● 法 学 研 究 科

《法学政治学専攻》

・ 修士課程修了（見込）の者

2月15日（水）			
9：00～10：30		13：00～	
筆答試験		口述試験	
外国語 英語、ドイツ語、フランス語、中国語から 1か国語 を選択。 ただし、下記の専門分野については、選択できる外国語の範囲が指定されていますので、入学後、その専門分野を専攻しようとする者は、その指定にしたがって選択してください。			
選択できる外国語の範囲			
専門分野	指定する外国語	専門分野	指定する外国語
英米法	英語	商法	英語、ドイツ語、フランス語
ドイツ法	ドイツ語	国際私法	ドイツ語、フランス語、中国語
アジア法 （中国法）	中国語	行政法	英語、ドイツ語、フランス語
民法	ドイツ語、フランス語		
提出された論文について行います。 （1人あたり 約30分）			

- 注1** 実際の口述試験の開始時刻は、当日法学研究科支援室（法学部棟2階）前に掲示します。
注2 選択した外国語につき辞書1冊の持ち込み使用を認めます（ただし電子辞書は不可）。

なお、下記の者については、筆答試験（外国語科目）を免除します（前期博士課程修了後3年間に限る）。

ア 本研究科前期博士課程入学試験において、科目重視型方式で受験して本研究科前期博士課程に入学した者のうち、以下のいずれかに該当する者。

- ① 前期博士課程入学試験において、後期博士課程入学試験に関して専門分野によって指定された範囲内の外国語を選択した者。
- ② 前期博士課程在学中に外国語の文献講読を主内容とする授業科目のうち、本研究科が指定した科目8単位（後期博士課程入学試験に関して専門分野によって指定された範囲内の外国語に限る）を修得した者。

イ 推薦入学特別選抜により本研究科前期博士課程に入学した者で、前期博士課程在学中に、外国語の文献講読を主内容とする授業科目のうち、本研究科が指定した科目8単位（後期博士課程入学試験に関して専門分野によって指定された範囲内の外国語に限る）を修得した者。

《法学政治学専攻》

・法科大学院修了（見込）の者

2月15日（水）		
2科目受験者 9:00 ～ 12:00		左記の2科目受験者 13:00 ～
3科目受験者 9:00 ～ 13:30		左記の3科目受験者 14:30 ～
筆答試験		口述試験
外国語	専門科目	
<p>英語、ドイツ語、フランス語、中国語から1か国語を選択。 ただし、専門分野によっては、選択できる外国語の範囲が指定されていますので、入学後、その専門分野を専攻しようとする者は、その指定にしたがって選択してください。【選択できる外国語の範囲は《修士課程修了者》と同じ】</p>	<p>別表1の専門試験科目から、志望する専門分野（主専攻）に対応する1科目を選択。 なお、国際政治、欧州政治外交史、政治学史、行政学を専攻しようとする者は、さらに、左記で選択した外国語以外の外国語を1か国語又は別表2の政治系の専門科目から1科目を選択（但し主専攻として選択した科目を除く）。</p>	

提出された小論文及び研究計画書について行います。
(1人あたり約30分)

- 注1** 実際の口述試験の開始時刻は、当日法学研究科支援室（法学部棟2階）前に掲示します。
注2 選択した外国語につき辞書1冊の持ち込み使用を認めます（ただし電子辞書は不可）。

別表1

別表2

専門試験科目	主専攻で選択した科目以外の政治系の専門試験科目
<p>法社会学、日本法制史、憲法、行政法、刑法、刑事訴訟法、刑事政策、民法、商法、民事訴訟法、倒産法、労働法、社会保障法、国際法、国際経済法、国際私法、英米法、ドイツ法、アジア法（中国法）、欧州政治外交史、政治学史、国際政治、行政学</p>	<p>欧州政治外交史、政治学、政治学史、国際政治、行政学</p>

願書記入上の注意

- ① 「志望分野」欄に、入学後研究指導を志望する教員名を「大学院の概要」〔別冊子〕から選んで記入してください。
なお、法務博士の学位を取得見込みの者は、志望する専門分野に対応する専門科目名も記入してください。
- ② 「受験外国語」欄の1に「選択した外国語」を記入してください。
なお、法務博士の学位を取得見込みの者で、国際政治、欧州政治外交史、政治学史、行政学を専攻しようとする者（3科目受験者）は、「受験外国語」欄の2に、1以外の外国語又は政治系の専門科目名を記入してください。
- ③ 出願後の変更はできません。

● 文 学 研 究 科

《哲学歴史学専攻》

日時等	2月16日(木)	2月17日(金)
		13:30~16:30
専門分野	筆答試験	口述試験
	論文	
哲 学	志望する専門分野について 論文試験を行います。	専門分野別に、筆答試験及び提出された 論文等について行います。 (一人あたり約30分)
日本史学		
東洋史学		
西洋史学		

※ 各専門分野とも、筆答試験・論文の一部として、外国語読解能力を問う問題が出題されることがあります。

願書記入上の注意 「文学研究科入学願書の記入例・注意事項」を参照して記入してください。

《人間行動学専攻》

日時等	2月16日(木)	2月17日(金)
		13:30~16:30
専門分野	筆答試験	口述試験
	論文	
社 会 学	志望する専門分野について 論文試験を行います。	専門分野別に、筆答試験及び提出された 論文等について行います。 (一人あたり約30分)
心 理 学		
教 育 学		
地 理 学		

※ 各専門分野とも、筆答試験・論文の一部として、外国語読解能力を問う問題が出題されることがあります。

願書記入上の注意 「文学研究科入学願書の記入例・注意事項」を参照して記入してください。

《言語文化学専攻》

日時等	2月16日(木)	2月17日(金)
		13:30~16:30
専門分野	筆答試験	口述試験
	論文	
国語国文学	志望する専門分野について 論文試験を行います。	専門分野別に、筆答試験及び提出 された論文等について行います。 (一人あたり約30分)
中国語中国文学		
英語英米文学		
ドイツ語 フランス語圏 言語文化学 ※※		
言語応用学		
表現文化学		

※ 各専門分野とも、筆答試験・論文の一部として、外国語読解能力を問う問題が出題されることがあります。
 ※※主として専攻する分野（ドイツ語圏文化学又はフランス語圏文化学）を願書の所定欄に明記すること。

願書記入上の注意

「文学研究科入学願書の記入例・注意事項」を参照して記入してください。

《アジア都市文化学専攻》

日時等	2月16日(木)	2月17日(金)
		13:30~16:30
専門分野	筆答試験	口述試験
	論文	
アジア都市 文化学	アジア都市文化学に関する 論文試験を行います。	筆答試験及び提出された論文等について 行います。 (一人あたり約30分)

※ 筆答試験・論文の一部として、外国語読解能力を問う問題が出題されることがあります。

願書記入上の注意

「文学研究科入学願書の記入例・注意事項」を参照して記入してください。

● 理 学 研 究 科

《数物系専攻》

2月14日(火)	
9:30 ~ 12:00	13:30 ~
筆 答 試 験	口 述 試 験 (約 15 分)
英 語 (英和・和英辞書の持ち込み可。 ただし、電子辞書は不可。)	本人の研究成果の発表及び関連する専門的事項。 (研究業績に関する資料を準備しておいてください。) <PCプロジェクター使用可>

願書記入上の注意

- ① 「志望分野」欄に、次の専門分野から一分野を選んで講座番号と専門分野を記入してください(専門分野の研究内容については「大学院の概要」[別冊子]を参照してください)。

講座番号	講座名	専門分野
A1	数理構造論	代数系、表現論、多様体論、位相幾何学、微分幾何学
A2	数理解析学	複素解析学、確率論、応用数学、代数解析学、偏微分方程式
A3	基礎物理学 (理論)	素粒子論、原子核理論、宇宙物理、数理物理
A4	宇宙・高エネルギー物理学 (実験)	宇宙線物理学、高エネルギー物理学、 宇宙・素粒子実験物理学、重力波実験物理学
A5	物性物理学	超低温物理学(実験)、光物性物理学(実験)、 生体・構造物性物理学(実験)、素励起物理学(理論)、 超伝導物理学(実験)、電子相関物理学(理論)

- ② 「受験外国語」欄には記入する必要がありません。

《物質分子系専攻》

2月14日(火)	
14:00 ~	
口 述 試 験 (約 15 分)	
本人の研究成果の発表及び関連する専門的事項(研究業績に関する資料を準備しておいてください)。 <PCプロジェクター使用可>	

願書記入上の注意

- 「志望分野」欄、「受験外国語」欄には記入する必要がありません。

《生物地球系専攻》

2月14日（火）
14：00～
口述試験（約15分）
本人の研究成果の発表及び関連する専門的事項 （研究業績に関する資料を準備しておいてください）。 <PCプロジェクター使用可>

願書記入上の注意

- ① 「志望分野」欄に、次の専門分野から一分野を選んで講座番号と専門分野を記入してください（専門分野の研究内容については、「大学院の概要」〔別冊子〕を参照してください）。

講座番号	講座名	専門分野
C1	生物分子機能学	代謝調節機能学、生体低分子機能学、生体高分子機能学
C2	生体機能生物学	動物機能生物学、植物機能生物学、細胞機能学
C3	自然誌機能生物学	動物機能生態学、植物機能生態学、情報生物学、植物進化適応学
C4	環境地球学	人類紀自然学、都市地盤構造学、地球情報学
C5	地球物質進化学	地球物質学、岩石学、地球史学

- ② 「受験外国語」欄には記入する必要がありません。

● 工 学 研 究 科

《機械物理系専攻、電子情報系専攻、化学生物系専攻、都市系専攻》

3月1日（木）
10：00～
口述試験
提出書類、研究業績、研究計画等について口述試験を行います。 なお、都市系専攻受験者は、①研究業績、研究計画等をA4用紙5枚程度にまとめたものを10部、 ②研究業績、研究計画等を説明するためのPCプロジェクター用電子ファイルを当日持参してください。

願書記入上の注意

- ① 「志望分野」欄に、「大学院の概要」〔別冊子〕の各専攻の研究テーマ欄の中から、志望するものを選び、その研究テーマ番号を記入してください。
 ② 「受験外国語」欄には、記入する必要がありません。

● 生活科学研究科

《生活科学専攻》

出願しようとする者は、「大学院の概要」を参照のうえ、志望専門分野の教授に、必ず事前に相談してください。志望専門分野の教授の研究室の電話番号は、学生サポートセンター生活科学研究科教務担当に問い合わせてください（28 ページ参照）。

2月13日（月）	
10:00 ～ 12:00	13:30 ～
筆 答 試 験	口 述 試 験
外国語 1	外国語 2
必修 英語 1	次の科目から 1科目 選択 英 語 2 ドイツ語 フランス語 ※ ドイツ語・フランス語については独和・仏和辞典1冊の持ち込み可。 ただし、電子辞書は不可。
提出された論文等を中心として発表（約10分）を行った後、それに関連した専門科目について行います。 <OHP・PCプロジェクター等使用可>	

願書記入上の注意

- ① 「志望専攻」欄に「生活科学」と記入してください。
また、「志望分野」欄に専門分野名と、その担当教員名を「大学院の概要」から選んで記入してください。専門分野名は研究テーマ欄の【 】から選んで記入してください。
- ② 「受験外国語」欄の1に上記外国語2から1科目を選んで記入してください。
- ③ 口述試験でOHP・PCプロジェクター等を使用する場合は、「氏名」欄右端に必要な機器を記入してください。ただし用意できない機器もありますので、事前に学生サポートセンター生活科学研究科教務担当に相談してください。

6 特別措置を希望する者の出願について

障害を有する等の理由により、本学の受験上・修学上の特別措置を希望する場合は、平成23年12月5日（月）までに、志願する研究科教務担当に相談してください。

なお、平成23年12月6日（火）以降においても、可能な限り対応いたしますので、すみやかに申し出てください。

7 合格者発表等について

(1) 合格者発表

研究科	日 時	場 所
経営学研究科	3月1日（木）	各研究科の指定する場所
経済学研究科	3月1日（木）	
法学研究科	3月5日（月）	
文学研究科	2月27日（月）	
理学研究科	3月1日（木）	
工学研究科	3月9日（金）	
生活科学研究科	3月1日（木）	

「合格者受験番号一覧表」の送付を希望する者は、学力試験当日に返信用封筒（郵便番号・住所・氏名・受験番号を記入し、350円分の切手を貼った定形封筒）を提出してください。「合格者受験番号一覧表」は、合格者発表日に送付します。

ただし、文学研究科を受験された方については、合格発表当日に郵便により「合格者受験番号一覧表」を送付します（返信用封筒を用意する必要はありません）。

(2) 合格通知書

合格発表日に、各研究科の指定する場所において、「合格通知書」及び「入学手続等について」をお渡しします。その際には「受験票」の提示が必要です。代理人が受け取ることもできます。その場合も「受験票」が必要です。

ただし、文学研究科に合格された方には、合格発表当日に、特定記録郵便にて「合格通知書」及び「入学手続等について」を送付します（手渡しでの書類交付はありません）。

(3) 入学手続

日時 平成24年3月26日（月） 10:00～15:00（ただし、12:00～12:45を除く）
場所 各研究科の指定する場所

8 学 費

現行の金額は次のとおりですが、平成24年度の金額については変更されることがあります。

入学料	納付区分	「大阪市住民及びその子」注	222,000円
		「その他の者」	342,000円
授業料		年間 535,800円	（前期分 267,900円）

なお、在学中に授業料の改定が行われた場合には、改定後の授業料が適用されます。

注1 「大阪市住民及びその子」とは、入学者本人又は入学者本人と同一戸籍にある父母のいずれかが、平成23年4月1日以前から引き続き大阪市内に住所を有する者をいい、「入学料納付区分認定」の手続を行う必要があります。日本国籍を有しない者も同一の要件です。

2 「大阪市住民及びその子」に該当する者は、必要書類を提出して入学料納付区分認定を受ける必要があります。詳細は合格発表日にお渡しする「入学料、授業料の納付について」を必ず参照してください。なお入学料納付区分認定を受ける方は、認定を受けてから入学料を納付してください。

3 納付された入学料については払い戻しいたしません。

なお、入学料及び授業料については、減免の制度があります。詳細については、合格発表日にお渡しする「入学料減免及び授業料減免・分納の取扱いについて」を参照してください。

また、入学料については、平成24年3月に本学研究科前期博士課程及び本学法学研究科法曹養成専攻を修了して進学する者は、不要です。

9 注意事項

- (1) 学力試験の結果に関する照会には応じません。
- (2) 既納の入学検定料は次の事由以外では返還しません。
 - ・入学検定料を払い込んだが、出願しなかった場合
 - ・出願書類の不備等により受理されなかった場合
 - ・重複して入学検定料を払い込んだ場合
 ※ 返還の方法等は、出願期間最終日より1か月以内に学生支援課入試担当までお問い合わせください。上記以外の者には、入学検定料は返還しません。
- (3) 入学願書に虚偽の記載をした場合、または入学試験において不正行為をしたことが判明した場合は、入学決定後であっても入学許可を取り消すことがあります。
- (4) 1ページの「2 出願資格(3)(4)」による出願者で、当該研究科の定めた資格要件を満たさなかった場合は、本試験に合格しても入学を許可しません。
- (5) 本学では、出願・受験の過程において収集された個人情報について、入学試験・入学案内・入学手続関係・選抜方法研究・統計資料作成・本学での学生生活関連業務に関して必要とされる範囲で利用します。前述の業務以外で利用する場合は、必ず本人に了解を得た上で利用します。業務に必要な範囲で集められた個人情報を、第三者に提供することはありません。

過去の試験問題は、学生サポートセンター各研究科教務担当で閲覧できます。詳細は、学生サポートセンター各研究科教務担当にお問い合わせください(28ページ参照)。

〈外国人留学生特別選抜〉

1 募集人員

経営学研究科・経済学研究科・法学研究科・文学研究科・理学研究科・工学研究科・生活科学研究科の各専攻について、**若干名**を募集します（各専攻名は、1ページの〈一般選抜〉で記載している「1 募集人員」を参照してください）。

2 出願資格

日本国籍を有しない者で、次の各号のいずれかに該当する者。

- (1) 外国において、修士の学位に相当する学位を授与された者及び平成24年3月までに授与される見込みの者
- (2) 外国人留学生として日本の大学院において修士の学位を授与された者及び平成24年3月までに授与される見込みの者
- (3) 平成元年文部省告示第118号をもって文部大臣の指定した者
- (4) 当該研究科において、個別の入学資格審査により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者で、平成24年3月31日現在で24歳以上の者

注1 出願資格(1)、(2)の修士とは、経営学研究科及び経済学研究科は経営学・商学・グローバルビジネス・経済学の修士、法学研究科は法学及び政治学の修士、工学研究科は工学及び各専攻名に類する修士を含みます。

2 前記注1にあげた修士以外の修士の学位取得者及び出願資格(3)、(4)により出願しようとする者は、出願資格の認定のため、「出願資格審査申請書」などの提出を必要としますので、事前に学生サポートセンター各研究科教務担当に申し出のうえ、平成23年12月2日(金)までに必ず学生サポートセンター各研究科教務担当に必要書類を提出してください（「出願資格審査について」26ページを参照してください）。

3 経営学研究科の場合、前記注1にあげた修士以外の学位取得者及び出願資格(1)、(3)、(4)及び修士論文のない場合は、出願資格の認定のため、「出願資格審査申請書」などの提出を必要としますので、平成23年12月2日(金)までに必ず学生サポートセンター経営学研究科教務担当に相談してください（「出願資格審査について」26ページを参照してください）。

4 出願資格(3)の「平成元年文部省告示第118号をもって文部大臣の指定した者」については、1ページの〈一般選抜〉で記載している「2 出願資格の注4」を参照してください。

3 事前相談

出願しようとする者は、**出願資格及び希望する研究指導教員についての確認が必要**ですので、**出願前〔平成23年12月2日(金)まで〕に研究指導教員に相談してください。**

研究指導教員の連絡先電話番号は学生サポートセンター各研究科教務担当にお問い合わせください（各研究科の電話番号等は、28ページにあります）。

4 出願書類等

(1) 出願書類等（共通）

1	・入学願書 ・受験票等送付用封筒 ・入学検定料	2ページの〈一般選抜〉で記載している「3 出願書類等」を参照 ※ <u>本学各研究科前期博士課程修了見込み及び本学法学研究科法曹養成専攻修了見込みの進学希望者は入学検定料を納付する必要がありません。</u>
2	日本語の能力証明書	日本語の公的試験を受けた者は、成績表のコピーを提出。 日本語学校や大学で日本語の授業を受けた者は、修学に差し支えない程度に日本語を修得している旨、実際に教わった教員により記載・押印されたものを提出。（様式任意） （但し、出願する研究科の前期博士課程修了（見込）の者は提出する必要がありません。）
3	登録原票記載事項証明書	居住地の市区町村長の発行するもの。ただし、日本入国後90日以内の者で外国人登録手続を行っていない者、又は病気その他正当な理由により外国人登録手続を行っていない者は、査証（ビザ）の写しを提出してください。
4	出願資格認定書	出願資格(3)、(4)により出願する者のみ提出。 経営学研究科の場合、「2 出願資格」の注3の記載にしたがってください。
5	修士課程修了（見込）証明書	出身大学長等が作成したもの （但し、出願する研究科の前期博士課程修了（見込）の者、及び出願資格(3)、(4)により出願する者は提出する必要がありません。） (※)
6	修士課程成績証明書	出身大学長等が作成したもの （但し、出願する研究科の前期博士課程修了（見込）の者、及び出願資格(3)、(4)により出願する者は提出する必要がありません。） (※)
7	成績証明書（学部）	出身大学長等が作成したもの （但し、出願する研究科の前期博士課程修了（見込）の者、及び法学研究科を受験する本学法学研究科法曹養成専攻修了（見込）の者、並びに出願資格(3)、(4)により出願する者は提出する必要がありません。） (※)

(※) 和文、英文以外のものについては、公的機関(出身大学、日本語学校、大使館等)の証明のある翻訳文をあわせて提出してください

(2) 各研究科ごとに必要な書類

《経営学研究科》

A	推薦書	最終出身（在籍）大学長、学部長、研究科長又は指導教授が作成の上、厳封したもの。 (※)
B	履歴書	本学所定の用紙を用い、本人が記入してください。 ① 学歴は、学校教育期間全部を記入してください。 ② 学校名及び入学・卒業年月日は、もれなく記入してください。 ③ 研究歴、職歴があれば記入してください。
C	修士学位請求論文（写し）	出身研究科長等の証明書を提出論文の表紙に添付したものを3部（日本語・英語以外は日本語訳又は英語に訳したものを必ず添付すること）。
D	修士学位請求論文の要旨	日本語によるもの2,000字程度（A4版横書）を1部。
E	志望理由・研究計画書	経営学研究科所定の用紙に、志望理由・研究計画書等を記入の上、1部提出してください（日本語・英語以外は日本語訳又は英語に訳したものを必ず添付すること）。

注 Cについて、出願期間中に提出できない事情がある場合は、1月31日（火）17:00までの提出の延期を認めますので、12月20日（火）までに学生サポートセンター経営学研究科教務担当に相談のうえ、手続きをしてください。

《経済学研究科》

A	修士学位請求論文（写し）	出身研究科長等の証明書を提出論文の表紙に添付したものを3部（英語以外は日本語訳又は英語訳したものを必ず添付すること）。
B	修士学位請求論文の要旨	A4版横書400字詰原稿用紙を使用し、2,000字以内。 修士論文の目次を転記し、上記用紙に綴じ合わせ、表紙をつけたものを4部提出してください（P.C.等で作成の場合も、A4版横書き）。
C	補充論文及びその要旨（該当者のみ）	本研究科の入学試験にかつて不合格となった者は、400字詰原稿用紙50枚以内の補充論文及びその要旨（様式は、Bに準ずる）を提出することが望ましい。
D	その他の研究業績《提出任意》	前期博士課程（修士課程）修了者で、修了後に研究業績がある場合にはその業績及び要旨（様式は、Bに準ずる）も提出することができます。

注 Aについて、出願期間中に提出できない事情がある場合は、1月27日（金）12:00まで提出の延期を認めますので、1月4日（水）までに学生サポートセンター経済学研究科教務担当に相談のうえ、手続きをしてください。

《法学研究科》

A	修士学位請求論文（写し）	出身研究科長等の証明書を提出論文の表紙に添付したものを3部。 （本研究科前期博士課程修了（見込）の者は証明書の提出は不要）注
B	修士学位請求論文の要旨	日本語、英語、ドイツ語、フランス語のいずれかにより、A4版2枚程度（字数は日本語で換算して2,000字程度）を3部

注 Aについて、出願期間中に提出できない事情がある場合は、1月31日（火）12:00まで提出の延期を認めますので、1月4日（水）までに学生サポートセンター法学研究科教務担当に相談のうえ、手続きをしてください。

《文学研究科》

A	履歴書（全員）	<p>本学所定の用紙を用い、本人が記入してください。</p> <p>① 学歴は、学校教育期間全部を記入してください。</p> <p>② 学校名及び入学・卒業年月日は、もれなく記入してください。</p> <p>③ 研究歴、職歴があれば記入してください。</p>
	<p>修士学位請求論文の写し（全員）</p> <p>注を参照</p>	<p>出身研究科長等の証明書（様式随意）を提出論文の表紙に添付したものを1部（本学文学研究科前期博士課程修了（見込）で同一専攻専門分野を受験する者は不要です）。</p>
B	<p>注 出身大学院の修士論文提出日の関係で、出願時に提出できない場合次の手順で期日延長を認めます。</p> <p>①出願時に D「文学研究科 必要事項記入用紙」に必要事項を記入。</p> <p>②学生サポートセンター文学研究科教務担当に郵送：平成 24 年 1 月 30 日(月)の消印有効 学生サポートセンター文学研究科教務担当に直接持参：平成 24 年 1 月 31 日(火)17：00 まで (郵送の場合は、封筒に「修士学位請求論文（写し）在中」と朱書きし、必ず郵便局で特定記録郵便により送付のこと。)</p>	
C	修士学位請求論文の要旨（全員）	<p>日本語で 4,000 字以内に要約したものを 1 部。</p> <p>A 4 版（縦長）にワープロ等で横書きしてください（手書きも可）。</p> <p>1 行あたりの字数、1 頁あたりの行数等の様式、文章の構成は自由です。</p> <p>上記注により、修士論文を後日送付する場合は、論文と同時に後日提出してください。</p>
D	文学研究科必要事項記入用紙（全員）	文学研究科所定の用紙を用い提出してください。
E	B 以外の研究成果を示す論文等（写し）（希望者のみ）	B（修士学位請求論文の写し）以外で、志望専攻の専門分野についての研究成果を示す論文等があれば、その写しを 1 部提出してください。外国語で書かれたものでも構いません。

《理学研究科》

A	推薦書	<p>最終出身(在籍)大学長等が作成の上、厳封したもの。本研究科前期博士課程修了(見込)の者は提出する必要がありません。(※)</p>
B	履歴書	<p>本学所定の用紙を用い、本人が記入してください。</p> <p>① 学歴は、学校教育期間全部を記入してください。</p> <p>② 学校名及び入学・卒業年月日は、もれなく記入してください。</p> <p>③ 研究歴、職歴があれば記入してください。</p>
C	修士学位請求論文の要旨	A 4 版 2,000 字程度で、前期博士課程（修士課程）の研究題目を記したものを 1 部。

《工学研究科》

A	推薦書	<p>最終出身（在籍）大学長、学部長、研究科長又は指導教員が作成の上、厳封したもの。(※)</p> <p>本研究科前期博士課程修了（見込）の者は提出する必要がありません。ただし、卒業後、年数が経っている場合や指導教員の退職等により推薦書をもらえないなど、特別な事情がある場合は、工学研究科に相談してください。</p>
B	履歴書	<p>本学所定の用紙を用い、本人が記入してください。</p> <p>① 学歴は、学校教育期間全部を記入してください。</p> <p>② 学校名及び入学・卒業年月日は、もれなく記入してください。</p> <p>③ 研究歴、職歴があれば記入してください。</p>
C	① 修士学位請求論文 ② 修士学位請求論文の要旨	<p>①～②のうち、いずれか 1 つを 1 部提出すること。なお、要旨の場合は、A 4 版 2,000 字程度。また、出願資格(3)、(4)によって出願する者は、すでに提出された「出願資格審査申請書」の発表論文等一覧表、又は研究実績をもってこれに替えます。</p>

《生活科学研究科》

A	推薦書	最終出身（在籍）大学長等が作成のうえ厳封したもの。(※) 本研究科前期博士課程修了(見込)の者は提出する必要がありません。 ただし、卒業後、年数が経っている場合や指導教員の退職等により推薦書をもらえないなど、特別な事情がある場合は、生活科学研究科に相談してください。
B	履歴書	本学所定の用紙を用い、本人が記入してください。 ① 学歴は、学校教育期間全部を記入してください。 ② 学校名及び入学・卒業年月日は、もれなく記入してください。 ③ 研究歴、職歴があれば記入してください。
C	修士学位請求論文 (写し)	出身研究科長等の証明書を提出論文の表紙に添付したものを1部 (本研究科前期博士課程を平成24年3月に修了見込みの者については、証明書の提出は不要です)。
D	修士学位請求論文 の要旨	A4版1,200字程度を1部。
E	その他の研究業績 《提出任意》	学会等の発表論文又はその要旨(様式随意)

注 Cについて、出願期間中に提出できない事情がある場合は、2月3日(金)12:00まで提出の延期を認めますので、1月4日(水)までに学生サポートセンター生活科学研究科教務担当に相談のうえ、手続してください。

(※) 和文、英文以外の推薦書については、公的機関等の証明のある翻訳文もあわせて提出してください(翻訳文を必要とする場合、厳封は不要です)。

5 出願方法

入学検定料を納付し、15ページに記載の「4 出願書類等、(1)出願書類(共通)」の書類及び、「(2)各研究科ごとに必要な書類」を取りそろえ、本学所定の出願封筒を使用し、送付してください。

※ 出願手続きについては、5ページに記載の〈一般選抜〉で記載している「4 出願方法」と同様です。

※ 本学各研究科前期博士課程修了見込み及び本学法学研究科法曹養成専攻修了見込みの進学希望者は入学検定料を納付する必要がありません。

6 選抜方法

入学者選抜は、学力試験の成績及び出願書類の内容を総合して行います。学力試験会場は、本学杉本キャンパス(JR阪和線杉本町〔大阪市立大学前〕駅下車)です。

なお、詳細は受験票を送付する際に通知します。受験票は試験当日必ず持参してください。

(1) 学 力 試 験

● 経 営 学 研 究 科

《グローバルビジネス専攻》

2月16日(木)	2月17日(金)
9:10 ~ 12:10	14:00 ~
筆 答 試 験	口 述 試 験
英語A (英文和訳) (語学辞書持ち込み不可)	提出された論文について行います。 (1人あたり約30分)

注 2月16日(木)の筆答試験の結果により、指定した者についてのみ口述試験を行います。該当者は、2月17日(金)9:30に経営学研究科支援室(商学部棟1階事務室)前で発表します。

願書記入上の注意

- ① 「志望分野」欄に、入学後研究指導を志望する教員名を「大学院の概要」〔別冊子〕から選んで記入してください。
- ② 「受験外国語」欄には記入する必要がありません。

● 経 済 学 研 究 科

《現代経済専攻》

2月16日(木)		2月17日(金)	
9:10 ~ 10:40	11:00 ~ 12:30	13:30 ~	10:00 ~
筆答試験	筆答試験	口述試験(論文中心)	口述試験(全体)
外国語1 英語I	外国語2 英語II	本研究科前期博士課程を修了した者及び他大学並びに他研究科からの受験生に対し、提出された論文について審査委員により行います。 なお、本研究科前期博士課程を修了見込みの受験者は、1月24日(火)に行います。 (1人あたり約60分)	提出された論文、筆答試験及び今後の研究計画等、全体にわたって研究科教員により全受験生に対して行います (1人あたり約30分)
辞書1冊の持ち込み可。 ただし、経済用語辞典、電子辞書等は不可。			

願書記入上の注意

- ① 「志望分野」欄に、入学後研究指導を志望する教員の氏名及び担当授業科目を「大学院の概要」〔別冊子〕から選んで記入してください。
- ② 「受験外国語」欄には記入する必要がありません。

● 法 学 研 究 科

《法学政治学専攻》

ア 外国において法学修士又は政治学修士の学位に相当する学位を授与された者及び平成 24 年 3 月 31 日までに授与される見込みの者。

2月15日(水)	
9:00 ~ 10:30	13:00 ~
筆答試験	口述試験
これまでの業績及び今後日本において研究を希望するテーマについて日本語で行います。	提出された修士論文及び筆答試験について、日本語で行います。(1人あたり約30分)

イ 外国人留学生として日本の大学院において法学修士又は政治学修士の学位を授与された者及び平成 24 年 3 月 31 日までに授与される見込みの者。

2月15日(水)	
9:00 ~ 10:30	13:00 ~
筆答試験	口述試験
母語以外の外国語 1 か国語(英語、ドイツ語、フランス語、中国語から 1 か国語を選択) ただし、本研究科の内部進学受験者は外国語科目を免除します。	提出された修士論文について、日本語で行います。(1人あたり約30分)

- 注 1 実際の口述試験の開始時刻は、当日法学研究科支援室(法学部棟2階)前に掲示します。
2 筆答試験の外国語については、辞書1冊の持ち込み使用を認めます(ただし、電子辞書は不可)。

ウ 法学及び政治学以外の修士の学位取得(見込)の者並びに「2 出願資格(3)、(4)」(15ページ)により出願した者の学力試験の方法については、事前相談の結果により、上記ア又はイで行います。

願書記入上の注意

- ① 「志望分野」欄に、入学後研究指導を志望する教員名を「大学院の概要」〔別冊子〕から選んで記入してください。
- ② 「受験外国語」欄の1に「選択した外国語」を記入してください。
- ③ 出願後の変更はできません。

● 文 学 研 究 科

《哲学歴史学専攻》

日時等	2月16日(木)		2月17日(金)
	10:30~12:00	13:30~16:30	13:30~
専門分野	筆答試験	筆答試験	口述試験
	外国語	論文	
哲 学	日本語 ※専門分野別に 出題されます。	志望する専門分野について 論文試験を行います。	専門分野別に、筆 答試験及び提出さ れた論文等につい て行います(一人 あたり約30分)
日本史学			
東洋史学			
西洋史学			

※ 各専門分野とも、筆答試験・論文の一部として、外国語読解能力を問う問題が出題されることがあります。

願書記入上の注意 「文学研究科入学願書の記入例・注意事項」を参照して記入してください。

《人間行動学専攻》

日時等	2月16日(木)		2月17日(金)
	10:30~12:00	13:30~16:30	13:30~
専門分野	筆答試験	筆答試験	口述試験
	外国語	論文	
社 会 学	日本語 ※専門分野別に 出題されます。	志望する専門分野について 論文試験を行います。	専門分野別に、筆 答試験及び提出さ れた論文等につい て行います(一人 あたり約30分)
心 理 学			
教 育 学			
地 理 学			

※ 各専門分野とも、筆答試験・論文の一部として、外国語読解能力を問う問題が出題されることがあります。

願書記入上の注意 「文学研究科入学願書の記入例・注意事項」を参照して記入してください。

《言語文化学専攻》

日時等	2月16日(木)		2月17日(金)
	10:30~12:00	13:30~16:30	13:30~
専門分野	筆答試験	筆答試験	口述試験
	外国語	論文	
国語国文学	日本語 ※専門分野別に 出題されます。	志望する専門分野に ついて論文試験を 行います。	専門分野別に、筆 答試験及び提出さ れた論文等につい て行います(一人 あたり約30分)
中国語中国文学			
英語英米文学			
ドイツ語 フランス語圏 言語文化学 ※※			
言語応用学			
表現文化学			

※ 各専門分野とも、筆答試験・論文の一部として、外国語読解能力を問う問題が出題されることがあります。
 ※※主として専攻する分野(ドイツ語圏言語文化学又はフランス語圏言語文化学)を願書の所定欄に明記すること。

願書記入上の注意 「文学研究科入学願書の記入例・注意事項」を参照して記入してください。

《アジア都市文化学専攻》

日時等	2月16日(木)		2月17日(金)
	10:30~12:00	13:30~16:30	13:30~
専門分野	筆答試験	筆答試験	口述試験
	外国語	論文	
アジア都市 文化学	日本語	アジア都市文化学に関する 論文試験を行います。	筆答試験及び提出 された論文等につ いて行います(一 人あたり約30分)

※ 筆答試験・論文の一部として、外国語読解能力を問う問題が出題されることがあります。

願書記入上の注意 「文学研究科入学願書の記入例・注意事項」を参照して記入してください。

● 理 学 研 究 科

《数物系専攻》

2月14日（火）	
9：30～12：00	13：30～
筆 答 試 験	口 述 試 験
英語及び専門科目（英語が母語とみなされる場合は、他の試験を課すこともあります。）	専門科目、日本語修得の程度等について行います。 (1人あたり約20分)

《物質分子系専攻》

2月14日（火）	
14：00～	
口 述 試 験 (約15分)	
本人の研究成果の発表及び関連する専門的事項（研究業績に関する資料を準備しておいてください） <PCプロジェクター使用可>	

《生物地球系専攻》

2月14日（火）	
9：30～12：00	14：00～
筆 答 試 験	口 述 試 験
英語及び専門科目（英語が母語とみなされる場合は、他の試験を課すこともあります。）	専門科目、日本語修得の程度等について行います。 (1人あたり約20分)

注 専攻により、口述試験の時間を変更して実施する場合があります。

願書記入上の注意

11・12 ページの<一般選抜>に記載している各専攻ごとの「願書記入上の注意」と同様です。ただし、一部変更する場合があります。

● 工 学 研 究 科

《機械物理系専攻、電子情報系専攻、化学生物系専攻、都市系専攻》

3月1日(木)
10:00～
口 述 試 験
提出書類、研究業績、研究計画について口述試験を行います。 なお、都市系専攻受験者は、①研究業績、研究計画等をA4用紙5枚程度にまとめたものを10部、 ②研究業績、研究計画等を説明するためのPCプロジェクター用電子ファイルを当日持参してください。

願書記入上の注意

- ① 「志望分野」欄に、「大学院の概要」〔別冊子〕の志望する専攻の研究テーマ欄の中から選んで、その研究テーマ番号を記入してください。
- ② 「受験外国語」欄には、記入する必要がありません。

● 生 活 科 学 研 究 科

13ページの〈一般選抜〉で記載している学力試験と同様です。

ただし、特別の措置が必要な場合は資格審査と選抜方法等を一部変更することがありますので、事前相談〔平成23年12月2日(金)まで〕の時にお問い合わせください。

7 特別措置を希望する者の出願について

障害を有する等の理由により、本学の受験上・修学上の特別措置を希望する場合は、平成 23 年 12 月 5 日（月）までに、志願する研究科教務担当に申し出て相談してください。

なお、平成 23 年 12 月 6 日（火）以降においても、可能な限り対応いたしますので、すみやかに申し出てください。

8 合格者発表等について

(1) 合格者発表

研究科	日 時	場 所
経営学研究科	3月1日(木)	各研究科の指定する場所
経済学研究科	3月1日(木)	
法学研究科	3月5日(月)	
文学研究科	2月27日(月)	
理学研究科	3月1日(木)	
工学研究科	3月9日(金)	
生活科学研究科	3月1日(木)	

「合格者受験番号一覧表」の送付を希望する者は学力試験当日に返信用封筒（郵便番号・住所・氏名・受験番号を記入し、350 円分の切手を貼った定形封筒）を提出してください。「合格者受験番号一覧表」は、合格者発表日に発送します。

なお、文学研究科を受験された方については、合格発表当日に郵便により「合格者受験番号一覧表」を送付します（返信用封筒を用意する必要はありません）。

(2) 合格通知書

合格発表日に、各研究科の指定する場所において、「合格通知書」及び「入学手続等について」をお渡しします。その際には「受験票」の提示が必要です。代理人が受け取ることもできます。その場合も「受験票」が必要です。

ただし、文学研究科に合格された方には、合格発表当日に、特定記録郵便にて「合格通知書」及び「入学手続等について」を送付します（手渡しでの書類交付はありません）。

(3) 入学手続

日 時 平成 24 年 3 月 26 日（月） 10:00 ~ 15:00 （ただし、12:00~12:45 を除く）
場 所 各研究科の指定する場所

9 学 費

現行の金額は次のとおりですが、平成 24 年度の金額については変更されることがあります。

入学料	納 付 区 分	「大阪市住民及びその子」 注	2 2 2, 0 0 0 円
		「その他の者」	3 4 2, 0 0 0 円
授業料		年間 5 3 5, 8 0 0 円	(前期分 2 6 7, 9 0 0 円)

なお、在学中に授業料の改定が行われた場合には、改定後の授業料が適用されます。

注 1 「大阪市住民及びその子」とは、入学者本人又は入学者本人と同一戸籍にある父母のいずれかが、平成 23 年 4 月 1 日以前から引き続き大阪市内に住所を有する者をいい、「入学料納付区分認定」の手続を行う必要があります。日本国籍を有しない者も同一の要件です。

2 「大阪市住民及びその子」に該当する者は、必要書類を提出して入学料納付区分認定を受ける必要があります。詳細は合格発表日にお渡しする「入学料、授業料の納付について」を必ず参照してください。
なお、入学料納付区分認定を受ける者は、認定を受けてから入学料を納付してください。

3 納付された入学料については払い戻しいたしません。

※ なお、授業料の減免の制度があります。詳細については、学生サポートセンター各研究科教務担当において別途お知らせします。

また、入学料については、平成 24 年 3 月に本学研究科前期博士課程及び本学法学研究科法曹養成専攻を修了して進学する者は、不要です。

10 注 意 事 項

※14 ページに記載の〈一般選抜〉で記載している注意事項を参照してください。

ただし、15 ページに記載の「**2 出願資格**(3)(4)」による出願者で、当該研究科の定めた資格要件を満たさなかった場合は、本試験に合格しても入学を許可しません。

なお、入学手続きに際して、わが国に居住している保証人が必要です。

過去の試験問題は、学生サポートセンター各研究科教務担当で閲覧できます。詳細は、学生サポートセンター各研究科教務担当にお問い合わせください（28 ページ参照）。

<出願資格審査について>

一般選拔出願資格(3)、(4) 1ページ参照
外国人留学生特別選拔出願資格(3)、(4) 15ページ参照 } に該当する者が対象です。

1. 出願資格審査申請期限

平成23年12月2日(金) 【消印有効】

2. 出願資格審査申請書等送付先

〒558-8585 大阪市住吉区杉本3-3-138 大阪市立大学学生サポートセンター〇〇研究科教務担当
(受験を志望する研究科あてに送付してください [28ページ参照].)

3. 出願資格審査申請書類

- ① 出願資格審査申請書 本学所定用紙
- ② 最終学歴に関する証明書
 - ・最終出身学校の成績証明書
 - ・卒業(修了)証明書
(最終出身学校の学則及びシラバス、又はこれに相当するものの提出を求める場合があります)
- ③ 職務経歴又は学力に関する書類 (提出を求める場合があります)
- ④ 志望理由書 (提出を求める場合があります)
- ⑤ その他、申請者本人の希望により、上記以外の証明書・論文・作品・資料等を添付することを認めます。

なお、和文、英文以外のものについては、公的機関(出身大学、日本語学校、大使館等)の証明のある翻訳文をあわせて提出してください。

(翻訳文を必要とする証明については、厳封は不要です。)

※ 提出書類は、原則として返却しません。

4. 出願資格審査 各研究科の選考方法による。
5. 出願資格審査結果通知方法 出願締め切り日の1週間前までに郵送(速達)により通知。
6. 出願資格認定有効期限 当該年度、当該研究科に限り。
7. 出願資格審査申請書請求方法

※ 平成23年12月2日(金)までに必ず必要書類をそろえて申請できるように、出願資格審査申請書の請求を早めに行ってください。

- (1) 直接窓口で受領する場合
学生サポートセンター各研究科教務担当で受領してください。
月～金曜日(土、日、祝日を除く) 9:00～17:00
(ただし、12:00～12:45を除く)

- (2) 郵送で請求する場合

ア 請求する封筒の表に「大学院出願資格審査申請書請求」と「赤色」で書き、裏には差出人の郵便番号・住所・氏名・電話番号を記入。

イ 返信用封筒(90円分の返信用切手を貼り、受取人の郵便番号・住所・氏名を明記した定形封筒)を同封。

ウ 請求先：〒558-8585 大阪市住吉区杉本3-3-138
大阪市立大学学生サポートセンター〇〇研究科教務担当
(志望する研究科あてに請求してください [28ページ参照].)

<社会人特別選抜学生募集の概要>

研究科名	経済学研究科	文学研究科	理学研究科	工学研究科	生活科学研究科
専攻名	現代経済	アジア都市文化学	数物系 物質分子系 生物地球系	機械物理系系 電子情報系系 化学生物系系 都市生物系系	生活科学
募集人員	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名
出願資格 (A及びBの 両条件を満たす者)	次のいずれかに該当すること (1) 修士の学位を有するもの (2) 外国において修士の学位に相当する学位を授与された者 (3) 平成元年文部省告示第 118 号をもって文部大臣の指定した者 (4) 当該研究科において、個別の入学資格審査により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で、平成 24 年 3 月 31 日現在において 24 歳以上の者				
	A	上記 A(1)～(4)に該当する者で、平成 24 年 3 月 31 日現在において、満 30 歳以上の者。	上記 A (1)～(4)に該当する者で、平成 24 年 3 月 31 日現在において 3 年以上の職業その他の社会的経験を有する者。	上記 A (1)～(4)に該当する者で、平成 24 年 3 月 31 日現在において 2 年以上の勤務経験又は社会経験を有する者。	上記 A(1)～(4)に該当する者で、平成 24 年 3 月 31 日現在において、大学、研究所等(教育研究機関、官公庁、企業等)において 1 年以上の勤務経験を有する者。
出願書類配付時期	平成 23 年 11 月下旬				
出願期間	平成 24 年 1 月 4 日 (水) ～ 6 日 (金) 【6 日消印有効】				
学力試験	2 月 16 日 (木) 17 日 (金)	2 月 16 日 (木) 17 日 (金)	2 月 14 日 (火)	3 月 1 日 (木)	2 月 13 日 (月)
合格発表	3 月 1 日 (木)	2 月 27 日 (月)	3 月 1 日 (木)	3 月 9 日 (金)	3 月 1 日 (木)
選考方法	筆答試験、口述試験の成績及び研究計画書等出願書類の内容を総合して行います。	筆答試験、口述試験の成績及び研究計画書等出願書類の内容を総合して行います。	口述試験の成績及び出願書類の内容を総合して行います。	口述試験の成績及び出願書類の内容を総合して行います。	筆答試験、口述試験の成績及び研究計画書等出願書類の内容を総合して行います。

※ 社会人特別選抜による入学者についても一般選抜による入学者と同様に昼間課程となります。

詳しくは、各研究科ごとに発行している後期博士課程社会人特別選抜学生募集要項を参照してください。募集要項の請求方法は 28 ページを参照してください。

● 問い合わせ先

◆専攻・分野・受験科目・過去問題等

学生サポートセンター		〒558-8585 大阪市住吉区杉本 3-3-138	
経営学研究科教務担当	TEL 06-6605-2203	FAX 06-6605-3649	
経済学研究科教務担当	TEL 06-6605-2251	FAX 06-6605-3649	
法学研究科教務担当	TEL 06-6605-2303	FAX 06-6605-3649	
文学研究科教務担当	TEL 06-6605-2353	FAX 06-6605-3649	
理学研究科教務担当	TEL 06-6605-2504	FAX 06-6605-3649	
工学研究科教務担当	TEL 06-6605-2653	FAX 06-6605-3649	
生活科学研究科教務担当	TEL 06-6605-2803	FAX 06-6605-3649	
◎受付時間 月～金曜日(土、日、祝日を除く) 9:00～17:00 (ただし、12:00～12:45 を除く)			

◆出願手続等

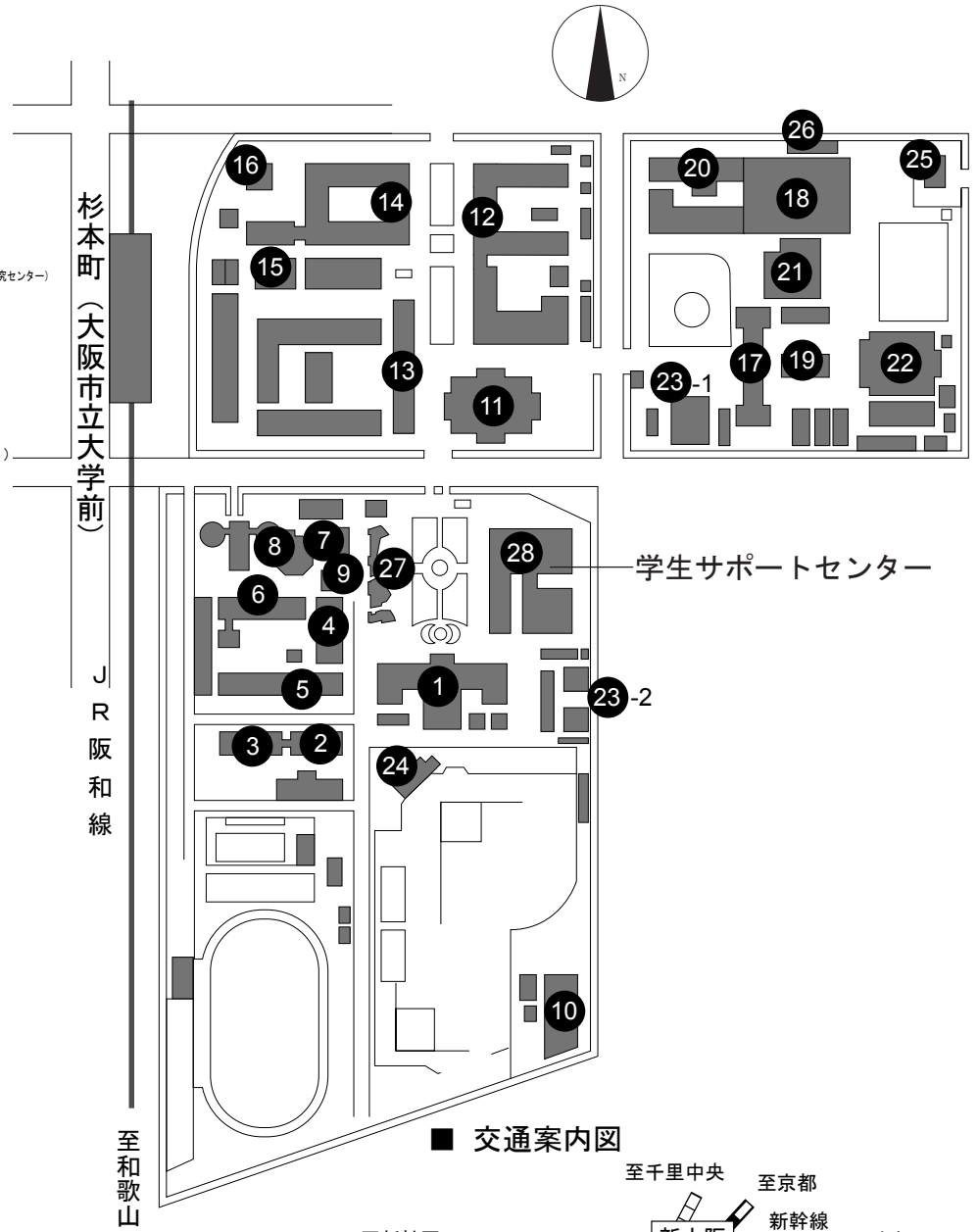
大阪市立大学学生支援課入試担当	TEL 06-6605-2141
-----------------	------------------

出願書類の請求方法 (郵送希望者)

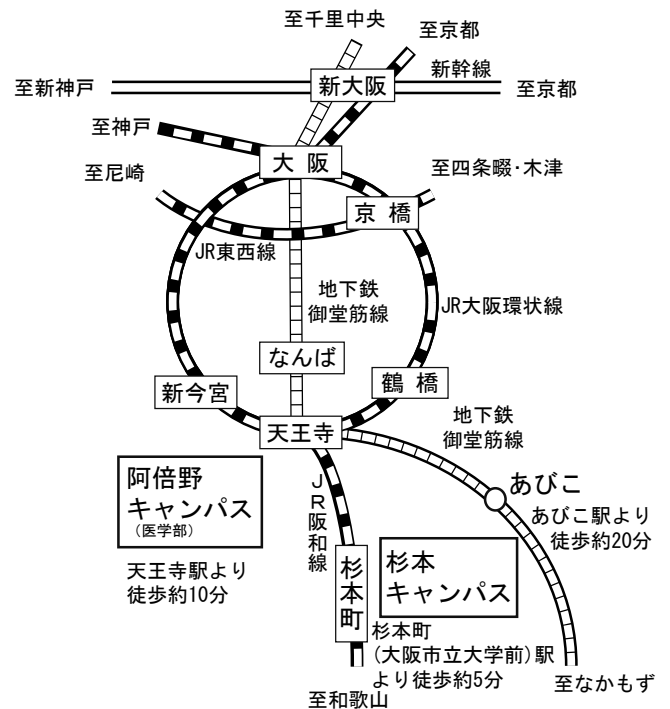
- 1 封筒の表おもてに「赤色」で「大学院〇〇研究科後期博士課程学生募集要項請求 (一般選抜・外国人留学生特別選抜) 又は (社会人特別選抜)」と記入
- 2 390 円分の切手を貼り、受取人の郵便番号・住所・氏名を明記した返信用封筒 (角形 2 号: 24.0 cm×33.2 cm) を同封
- 3 請求先 〒558-8585 大阪市住吉区杉本 3 丁目 3 番 138 号
大阪市立大学学生支援課入試担当

■ 杉本キャンパス

- ① 1号館（事務室〔職員課、経営管理課、学務企画課、研究支援課、第2部事務室〕）
- ② 商学部棟
- ③ 経済学部棟
- ④ 法学部棟
- ⑤ 文学部棟
- ⑥ 経済研究所棟（創造都市研究科、人権問題研究センター、証券研究センター）
- ⑦ 都市研究プラザ
- ⑧ 田中記念館
- ⑨ 保健管理センター
- ⑩ 河海工学実験場
- ⑪ 学術情報総合センター（大学史資料室、事務室〔総務課、学術情報総合センター運営課〕）
- ⑫ 理学部棟
- ⑬ 工学部棟
- ⑭ 生活科学部棟
- ⑮ 工作技術センター
- ⑯ 児童・家族相談所
- ⑰ 2号館
- ⑱ 全学共通教育棟
- ⑲ 4号館
- ⑳ 基礎教育実験棟
- ㉑ 第1体育館
- ㉒ 第2体育館
- ㉓-1 第1学生ホール
- ㉓-2 第2学生ホール
- ㉔ 硬式野球場スタンド
- ㉕ ゲストハウス
- ㉖ 新産業創生研究センター
- ㉗ 高原記念館
- ㉘ 学生サポートセンター



■ 交通案内図



〒558-8585 大阪市住吉区杉本3-3-138
JR「杉本町（大阪市立大学前）駅」下車、東へ徒歩約5分
地下鉄御堂筋線「あびこ駅」下車、4号出口より南西へ徒歩約20分



大阪市立大学
OSAKA CITY UNIVERSITY

大学運営本部学生支援課入試担当

〒558-8585 大阪市住吉区杉本3丁目3番138号

平成23年11月発行